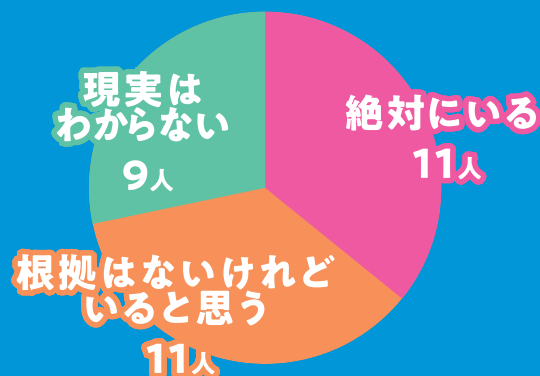


トシコー生の リアル冬休み白書

今年もやってきた僕たちの冬休み！
新聞委員のメンバーへ、
冬休みの過ごし方を聞いてみました！

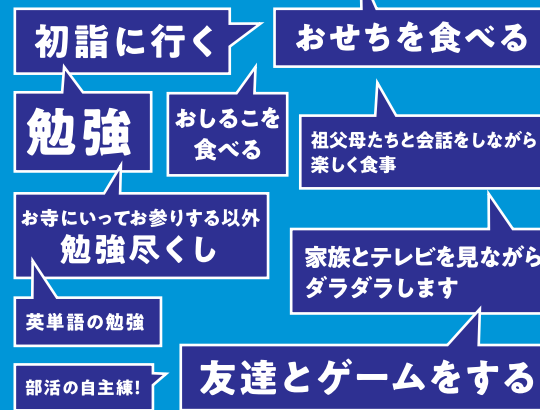
Q1. そもそもサンタクロースって、
いると思いますか？(回答数:31人)



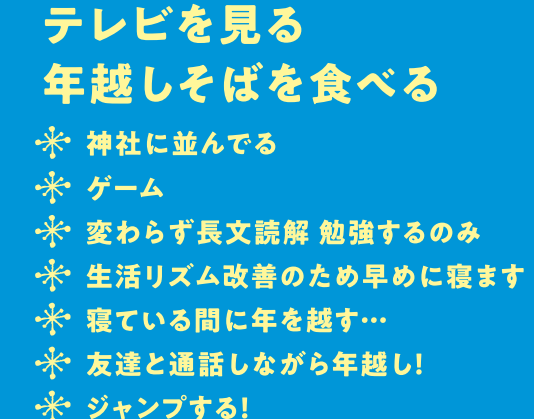
Q2. 今年のクリスマス、どうやって過ごす？



Q3. お正月は何をする？



Q4. 年越しの瞬間、そのとき君は…？



EVENTS INFORMATION

※詳細は学校ホームページで発表いたします

※各種イベントは、状況により変更となることがあります。最新情報は学校ホームページ (<https://www.tcu-jsh.ed.jp>) をご確認ください。

ミニ説明会

2024 1/13 国

10:00 ▶ 11:30

要予約

東京都市大学
付属中学校・高等学校

小田急線 成城学園前駅より徒歩10分
東急田園都市線 二子玉川駅よりバス20分
東京都世田谷区成城1丁目13番1号
TEL 03-3415-0104 FAX 03-3749-0265
お問い合わせはこちら info@tcu-jsh.ed.jp



T-Scope

トシコー生のリアルを発信する
情報マガジン

vol.21

東京都市大学 付属中学校・高等学校
TOKYO CITY UNIVERSITY JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

編集:生徒会新聞委員会
2024.1.11発行



増刊号
トシコー先生可かん
あの先生を
大調査!



あの先生を 大調査! トシコー先生ずかん

大好評につき、今回は先生ずかんを増刊号でお送りします! トシコー生も実は知らない、あの先生の意外な一面が見つかるかも…?

社会 すべての時代で考え抜け

石嶋 伸啓先生

Q-1

過去も現在も全てテーマになるところが、社会科ならではの魅力です。とにかく考える! そして知識と教養を大事にしてください。本をたくさん読むことや、授業をしっかり受けることも重要です。

Q-2

中学受験時の塾の社会の先生が面白くて歴史が好きになり、先生を目指しました。

Q-3

得意だったのは、社会と国語。英語と数学は不得意でした。化学はmolでつまずき、それ以降は苦手に…

Q-4

勉強と部活はともに大切にし、いろいろな経験をしてください。読書だけでなく研修旅行での体験など、「見て、感じる」五感を大切に過ごしてほしいです。

生徒コメント

高校の高学年を担当する先生だからこそ、中3の自分たちが今できること、勉強する内容の重要性がわかりました。また「社会を勉強として勉強していない」と述べられたことに、先生の社会への愛が感じられて素敵だと感じました。普段では見えない一面が垣間見えて、とてもよいお話が聞けました。

取材担当【中学3年】青山 紀

英語 乗り越えれば、世界が広がる

Q-1

英語を身に付けたときに、広がる世界が魅力です。勉強は時に苦しく、そしてそこからは逃げられないので、乗り越える強さが大切です。

Q-2

生徒と一緒に過ごしたいと考えていたからです。

生徒コメント

準備はしっかりとやること、不測の事態に陥ってもよく考え行動すること、そして「めんどくさい」などの理由で休んではいけないということを感じました。

取材担当【中学1年】山地 柚輝

質問項目

- Q.1 担当科目の魅力と勉強のアドバイス
- Q.2 なぜ先生に?
- Q.3 学生時代の得意・苦手科目は?
- Q.4 トシコー生に一言!

数学 どんな問いにも答えを導き出す

河原 佑介先生

Q-1

難しい問題に対しても、様々な定理や公式を使いこなすことで答えを求めることができるというところが面白いと思います。まずは授業の復習と課題、小テストを完璧にこなすことを目標にして、全ての科目に対して一生懸命に取り組んでみてください!

Q-2

中学時代、マーチングバンド部に所属していて、いつか顧問の先生をやりたいなと思って目指しました。数学が少し得意だったので、数学の先生になりました。

Q-3

得意教科は数学で、不得意だったのは国語と英語でした。

Q-4

トシコー生は真面目な生徒が多いので、しっかりと一つひとつ取り組んでいけば、必ずできるようになります。壁にぶつかっても、諦めずに一生懸命に取り組んでください!

生徒コメント

河原先生は、中1の時の担任で、現在は代数を教えてもらっています。僕にとってはすごくなじみがある先生ですが、まだ知らなかった先生の過去について聞くことができて面白かったです。ありがとうございました!

取材担当【中学2年】中原 潤

荒井 巖先生

Q-3

得意教科はもちろん英語でした。苦手な教科は数学でした。

Q-4

生きるのはつらいことや苦しいこともありますが、やっぱり楽しいですよ!

国語(古典) 「魔の暗号」を想像で解読せよ

伊藤 拓先生

Q-1

全科目の原点になり、考える上での基礎として重要な科目だと思います。古典や漢文は、知らなくても生きていけますが、そうやって必要ないものを削ぎ落とすと知識や教養のない人になってしまいます。昔と今の言葉や価値観のつながりや、昔の人も僕らと同じことを考えていたなどが感じられるのも魅力です。古典が苦手な人には、それこそ「魔の暗号」だと思いますが、化学より動きが見えるかなと。例えば、紙芝居なら古典は分かると思います。興味のきっかけは「こういう意味かな」と想像がつくときなので、できるだけ図や絵になるような授業もしています。紙芝居的に頭の中で思い浮かべられたらいいと思いますよ!

Q-2

教えることが好きで先生を目指すことに。大学生で挫折しかけましたが、教育実習がとて濃密で「やっぱり先生になるしかない」と思いました。

Q-3

日本史も先生になろうか迷うほど得意でした。苦手だったのは化学。「魔の暗号」にしか見えなかったです。高校生の頃、テストが振るわず先生からも「教科書をとにかく読みなさい!」と。その教科書が暗号なんだ、と思いましたが、その“暗号”を丸暗記してテストに臨んだことがあります。英語も苦手でしたが、海外旅行や、漢文の勉強で克服しました。

生徒コメント

お話を聞いて、授業のこだわりや先生という職業への思い、そして生徒への思いをより感じられました。改めて、ありがとうございました!

取材担当【高校2年】青山 蒼太/入谷 晃平/武光 志挺

大岩 幸平先生

Q-1

他の理科の科目に比べて、根本的なところを研究して根本的な中身を語るところが魅力です。国語は「言い換え」がキーワードですが、理科も同じだと思います。早いうちには公式やルールを自分の中に蓄積して、さまざまな視点で見られるようになることも大切です!

Q-2

高校時代に先生から「向いている」といわれたのがきっかけ。自分自身の体験に照らし合わせながら人に共感できることも、自分で向いていると感じました。

Q-3

英語が得意で、ライティングの試験は9割を下回ったことがなかったです。逆に苦手は国語。物理も平均以下だったのですが、それは国語が苦手だったからだと思います。

Q-4

共学だと思い切りできないことも、トシコーだとみんなが思い切っていると思います! 目立ちたがりではなくても、個性に溢れていることは素敵どころです。

生徒コメント

インタビューを通じて、優しい先生だと感じました。理科は早いうちから公式を覚え、積み重ねることが大切だと分かり、今後に生きる話をたくさん聞くことができました。

取材担当【高校1年】中村 文哉/大内 天翔